

# 人間尊重の気風がみなぎる東濃の教育

～「ぎふいのちの教育」実践例～

令和4年度 東濃教育事務所



児童生徒の発達段階に応じて、自他の生命の大切さやかけがえのない生命についての自覚を深める教育を、家庭や地域、関係機関と連携・協働して行っていく中で、一人一人によりよく生きようとする意欲や態度を育む。

健康教育

いじめ・不登校の防止教育

自殺予防教育

心の教育

幼稚(児)園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

生きる喜びに触れる／生命の尊さを知る／かけがえのない生命について考える／よりよく生きることを求める

各園・学校・市の実践を紹介します。

※紙面の都合上、一部の紹介になりますのでご了承ください。

## 健康教育

健康と命の大切さ、命の誕生、性に関する理解 等



### 命と向き合う

#### 「がん教育岐阜モデル授業」 瑞浪市立瑞浪中学校

令和4年度「がん教育総合支援事業」として、岐阜県立多治見病院の医師を講師として招き、第2学年で、がんについての学習を通して、命の大切さについて考えました。

「自分の家族が『がん』になったとき、家族のために自分にできることは何か」について、医師と学校職員による、がん告知のロールプレイの様子から実際の場面をイメージし、家族間の向き合い方、命との向き合い方について仲間と意見交流をしました。

医師からの専門的な話を聞き、身近な人の命について考えることから、自らの命を大切にすることを高めることにつながる実践となりました。



<参考>「学校におけるがん教育の手引」令和5年2月

### いのちの授業

#### 「いのちの授業講師派遣」 中津川市立坂下中学校

健康教育支援事業として、岐阜県総合医療センター寺澤大祐医師を招き、講話を行っていただきました。

寺澤先生には新生児医療に関わる経験から、「どんな子どもでも全力で助けること」「どんな子どもでも愛していること」を熱く語っていただきました。

また、生後間もなく失ってしまう命と向き合うこともある現実から、「精一杯幸せに生きることの大切さ」や「世界中の人々が生まれてきたという奇跡」を説かれ、話を聞きながら涙する多くの生徒の姿も見られました。

講演後、「人生を一生懸命生きたい」「生きていることに感謝して生きたい」と、生徒からの感想が聞かれました。



### 命をいただく「食育」

#### 「魚の解体の実演」 瑞浪市立竜吟幼稚園

園参観の日に、料理人の方に来ていただき魚の解体の実演から「食育」を行いました。魚がさばかれる様子を見て、子供たちは口々に「うわ～、かわいそう……」とっていました。食育活動を通して、魚の命をいただいて、自分たちが生かされていることの意味を幼児なりに感じ、「命をいただく」ことの大切さを親子で考える機会となりました。



### 命への責任「飼育」

#### 「生き物の飼育」 中津川市立南幼稚園

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探求心をもって考え、言葉などで表現することを大切にしています。園児は、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになります。身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになっています。



## 薬物乱用防止教室

### ◇薬物乱用防止教室

岐阜県立中津川工業高等学校

講師：中津川ライオンズクラブ

中津川警察署



岐阜県立中津高等学校(定時制)

講師：学校薬剤師

## 性に関する理解

### ◇講話 岐阜県立瑞浪高等学校

『「性」ってなんだろう？ それは、とても大切な「生き方」のはなし』

講師：市立恵那病院

産婦人科部長



◇この他にも、「獣医師による命の授業」「助産師による命の授業」なども各校で行われています。

## いじめ・不登校の防止教育

温かい人間関係づくり・居場所づくり 等



## 学級経営の充実

### ◇東濃地区教育推進協議会指定「学級経営」研究推進校

学級活動を主とした「学級経営」の実践を公表し、東濃管内の小・中学校の「学級経営」の充実を図っています。

充実した学級経営により、児童生徒は「自己の生き方を見つめ、自己を生かす能力、人を思いやる態度」を身に付けることができます。若手教員が増加している状況もあり、東濃管内で、特別活動領域について学ぶ貴重な機会ともなっています。

※令和3年度発表校 中津川市立苗木小学校

「仲間と共によりよい生活を目指し、自ら行動する児童の育成」

～全員で課題解決に向かう話し合い活動～

※令和2年度発表校 瑞浪市立瑞浪南中学校

「よりよい生活のために主体的に行動する生徒の育成」

～仲間と認め合い、一人一人が高まる学級経営～

### 令和4年度発表校 土岐市立土岐津中学校 「主体的に活動し続ける生徒の育成」

～話し合い活動を通して～

ICTを活用して、学級の意識調査を行いました。調査結果を散布図にして示し、意識と現実のズレから話し合う必然性のある議題を設定しました。



令和4～5年度指定 多治見市立市之倉小学校

## 共感的な人間関係づくり

### ◇異学年交流・縦割り活動

瑞浪市立瑞浪小学校

高学年による低学年への読み聞かせ



### ◇よりよい人間関係をつくるために

・講話「おつきあいの方程式」

岐阜県立恵那特別支援学校

講師：岐阜大学 医学教育開発センター

・講話「相手の話を聴くときのコツとポイント」

岐阜県立恵那農業高等学校

講師：岐阜大学保健管理センター 臨床心理士



## 教育相談室・校内適応指導教室の充実

### ◇「教育相談室の環境整備」 多治見市立北陵中学校

人目を気にせず出入りできる場所へ移動させ、個別の生徒に対応できる3つのスペースを設けました。

①個別学習スペース ②談話スペース ③共有スペース



個別学習スペースで、タブレットで教室とつないで授業に参加するなど、1日の予定を自分で決定しています。

### ◇「校内適応指導教室」の設置 土岐市教育委員会

土岐市内すべての小中学校に、教育相談員を配置しています。さらに、市内5校に校内適応指導教室を設置し、適応支援員を配置して、別室登校児童生徒の支援を行っています。

### ◇学業支援員の配置 瑞浪市教育委員会

瑞浪市では、今年度新たに学業支援員を全ての中学校に配置し、相談室等での学習支援や相談等を行っています。

## 弁護士による授業

### ◇弁護士によるいじめ未然防止授業 多治見市教育委員会

いじめや人権について考え、いじめを未然に防ぐ資質や能力を養うために、小学校高学年から中学生を対象に、年間約20学級分の授業を実施しています。

令和4年度は、5小1中の22学級で実施しました。



### ◇弁護士による講話 土岐市教育委員会

市のスクールロイヤーを講師にいじめに関する講話を全ての小中学校で年1回実施しています。  
(実施学年は各学校で決定)



## 自殺予防教育

SOSの出し方教育、性被害から守る予防教育 等

### 「SOSの出し方」

#### ◇「SOSの出し方教育」 各小・中・高等学校

各小・中・高等学校において、様々な内容、方法で工夫しながら実施しています。

- ・SC作成の映像やプレゼンの活用
- ・SCによる講話
- ・ジョハリの窓を用いたワーク
- ・ストレスとの向き合い方
- ・東京都教育委員会作成教材活用
- ・東京都多摩小平保健所作成資料活用
- ・相談機関の紹介
- ・対面、校内でのオンライン 等



### 「SOSの受け止め方」

#### ◇ゲートキーパー養成講座

瑞浪市立瑞浪中学校

講師: 聖十字病院



#### ◇「心配なことや悩みを話す?話さない?」

中津川市立第一中学校

相談を受け止める側の全職員に、相談を受ける時の気持ちについて事前アンケートを行い、それを「SOSの出し方教育」の中で生徒に伝えることで、安心して相談してみようという動機付けとなるようにしました。

## 「SOSの出し方」と「SOSの受け止め方」の双方が大切



瑞浪市立明世小学校

土岐市立濃南中学校



多治見市立笠原中学校

岐阜県立多治見高等学校



## 心の健康状態は?

#### ◇「情報をキャッチするアンテナを高く」

「気軽に情報交換できる職員集団」

毎日の生活の中で、多くの職員の中で、その表情、声、会話などから子どもたちの様子をキャッチし、いつも情報交換できる雰囲気であることが大切です。

#### ◇「多様な方法で」

その他にも、多様な方法で子どもたちの思いや変化をキャッチしています。

- ・生活ノート
- ・心のアンケート
- ・二者懇談
- ・「心の天気」アプリ 等



## 自分を守る

#### ◇性被害予防教育

・性被害の予防教育(1,2年生)

瑞浪市立釜戸小学校

【担任と養護教諭のT・T】

心と身体を守る「くもくん教室」

(岐阜県警察)のDVDを視聴



・「デートDVに関する講話」  
中津川市立阿木高等学校

講師: 岐阜県警察本部  
生活安全部少年課

# 心の教育

生命尊重、生きる喜びを実感する体験活動 等



## 生命尊重

### 「かけがえのない命」(小3)道徳 多治見市立池田小学校

内容項目 D(18)「生命の尊さ」  
資料名「大切なものは何ですか」

導入で「自分にとって大切なもの」を問い、資料を基に交流することで、互いに「大切なもの」を伝え合いました。

深めの発問では、「主人公の一番大切なもの」を考えることで、命の大切さを理解するとともに、クラスの仲間の多様な大切なものが、命につながっていることに気付くことができました。



## 心と体のつながり

### 「心と体のつながりを考える」(小5)体育(保健)

瑞浪市立土岐小学校

行事等による不安や緊張が出やすい時期に合わせ、「自分に合った対処法」を学ぶ授業を実践しました。

導入では、人前で不安や緊張してしまうことは誰もがすること学級の仲間と意見交流し、対処できるようになりたいという意欲付けを行いました。栄養教諭による生活習慣と心の関係の学習を振り返り、「しっかり食べることで、心も健康になる」ことを対処法の一つとして確認しました。また、養護教諭による「睡眠の重要性」についての指導から、よく寝ることで対処できることを確認し、終末では通級指導教室の先生による「リラックスタイム」として、緊張をほぐすための呼吸法、軽い運動を体験しました。



## 心と発達、欲求と心

### 「思春期の心」(中1)学級活動

中津川市立阿木中学校

思春期の心の不安定さやコントロールできない苛立ちなど、複雑な気持ちが強まることへの「考え方」「対処の仕方」について、養護教諭がT2として授業に入り、専門的な立場から指導を行う実践をしています。

全校生徒への事前アンケートの結果を導入時に提示し、思春期の心の不安定さは「誰にでもあること」として理解することができました。養護教諭からは、扁桃腺や前頭前野など脳の発達に起因していることについて具体的に説明を受け、生徒が自己の心の変化を見つめる姿が見られました。

教師の経験談も紹介し、心をコントロールすることの難しさを共有しながら、事例をもとによりよい対処法を考えました。



## 家庭生活と地域の関わり

### 「家族・家庭や地域との関わり」技術・家庭科(家庭分野)

自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、人と関わる活動を充実することにより、家族や地域の人々と協力・協働することの大切さや、自分の成長や生活が周囲の人々に支えられていることに気付くことができる学習をしています。

家族と  
家庭生活

幼児との  
触れ合い

高齢者  
との関わり

地域の方  
との協働



### 共に生きる <学習後の生徒の感想>

私はこれまでの自分を振り返って家族にたくさん支えてもらい、今も応援してもらって相談したりご飯を作ってもらったり、多くのことをしてもらっています。自立していくためには、自分が助けてもらうばかりではなく、これからは家族や身近な人のために行動できるようになることも自立の大きな一歩だと思います。自分も周りの人も大切によりよい生活を創ってきたいです。



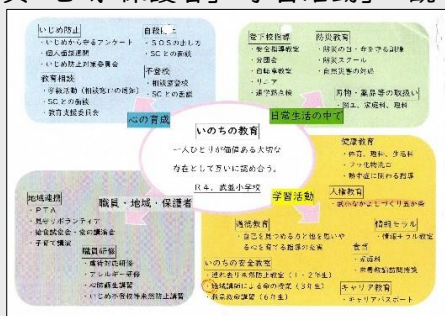
## 中学校区での取組

### 「いのちの教育取組シート」 恵那市立恵那西中学校区

恵那西中学校区の小中4校では、「いのちの教育」に関する取組を1枚のシートにまとめました。中心に目標を掲げ、「心の育成」「日常生活」「職員・地域・保護者」「学習活動」の観点ごとに示しています。

シートを活用しながら月の重点の検討などを行っています。

共通理解を図る、年間を見通す、道徳計画訪問の際に連携を図るなどの活用がされています。



## 中津川市「命の教育」

平成19年度にスタートした独自の取組です。命の教育推進委員会が開催され、年間計画に基づいて、各園・学校において外部講師や担任による多様な授業が行われ、研修会等も行われています。

